

令和4年度 北海道教育大学函館校

養護教諭特別別科  
一般選抜問題

公衆衛生学

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開かないこと。
2. 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明および解答用紙の汚れ等により交換を必要とする場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 受験番号は、解答用紙のそれぞれの指定欄に記入すること。
4. 解答は、解答用紙の指定欄に記入すること。
5. 解答用紙2枚を提出し、問題冊子は、試験終了後、持ち帰ること。



問1. 以下の文章中、正しいものの番号を記入しなさい。（20点）

1. わが国における、主要死因別にみた死亡数に関して、令和元年の死亡数第一位は、  
A (①肺炎 ②老衰 ③脳血管疾患 ④悪性新生物 ⑤心疾患 ⑥誤嚥性肺炎) である。
2. わが国における、主要死因別にみた死亡数に関して、令和元年の死亡数第二位は、  
B (①肺炎 ②老衰 ③脳血管疾患 ④悪性新生物 ⑤心疾患 ⑥誤嚥性肺炎) である。
3. わが国における、主要死因別にみた死亡数に関して、令和元年の死亡数第三位は、  
C (①肺炎 ②老衰 ③脳血管疾患 ④悪性新生物 ⑤心疾患 ⑥誤嚥性肺炎) である。
4. わが国における、主要死因別にみた死亡数に関して、令和元年の死亡数第四位は、  
D (①肺炎 ②老衰 ③脳血管疾患 ④悪性新生物 ⑤心疾患 ⑥誤嚥性肺炎) である。
5. わが国における、主要死因別にみた死亡数に関して、令和元年の死亡数第五位は、  
E (①肺炎 ②老衰 ③脳血管疾患 ④悪性新生物 ⑤心疾患 ⑥誤嚥性肺炎) である。

問2. 以下の各文章について、正しい場合には○を、正しくない場合には×を記入しなさい。（20点）

- ① 禁煙教室は一次予防である。
- ② がん検診は二次予防である。
- ③ 職場のストレスチェックは三次予防である。
- ④ ヘルスプロモーションは1986年のオタワ憲章にて提唱された健康戦略である。
- ⑤ プライマリヘルスケアの活動内容として、主要感染症の予防接種は含まれていない。
- ⑥ 有病率とは、一定期間内に新たに疾病が発生した率のことである。
- ⑦ 検査の指標として、疾病ありの者を正しく陽性と判定する割合のことを感度という。
- ⑧ 日本の人口静態統計は、5年に一度、総務省による国勢調査によって把握される。
- ⑨ 就学時健康診断は、初等教育に就学した4月中に実施される。
- ⑩ 学校保健安全法により、学校医はすべての学校に置くものとされる。

問3. 以下の空欄を適切に埋めなさい。（30点）

1. 感染経路には、母子間の伝達によって起こる A ( ) と、それ以外の B ( ) とに大別される。
2. 動物の中で伝播している微生物がヒトに感染する場合も懸念され、このように動物からヒトに感染するような感染症を C ( ) と呼ぶ。
3. 精神保健福祉法では、精神障害者の入院について、5つの入院形態を定めている。患者本人の同意を得て行われる D ( ) 入院のほか、E ( ) 入院、F ( ) 入院、G ( ) 入院、H ( ) 入院が挙げられる。（※E、F、G、Hは順不同）
4. 昭和47（1972）年に安全衛生に関する規定や労働安全衛生規則などを集大成することで労働安全衛生法が制定され、同法のもと、労働衛生の3管理【作業管理、I ( )、J ( )】と安全衛生教育が積極的に進められた。（※I、Jは順不同）

問4. 以下の文章は、食と栄養素に関する記述である。適当な語句と考えられるアルファベットを語句群から選び、文章を完成させなさい。①、②、③、④、⑤は語句群Ⅰから、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩については語句群Ⅱから選択すること。同じ番号の（ ）には同じ語句が入ります。（20点）

「日本人の食事摂取基準」は、国民の健康の保持・増進、生活習慣病の発症・重症化予防を目的に、健康な個人または集団のエネルギーと各栄養素の摂取量の基準を、性・年齢区分別にて示したものである。この「食事摂取基準」は、①（ ）第16条の2に基づき定められ、②（ ）年ごとに基準の見直しが行われる。

食事摂取基準では栄養素について、摂取不足の回避を目的とする③（ ）、④（ ）、⑤（ ）と、過剰摂取による健康障害の回避を目的とする UL（耐容上限量）、生活習慣病の発症予防を目的とする DG（目標量）がある。③（ ）は、特定の性・年齢層別集団において、その半数の人が必要を満たすと推定される摂取量のことであり、④（ ）は同じく、そのほとんどの人が必要を満たすと推定される摂取量のこと、そして⑤（ ）は、特定の集団の人々が、ある一定の栄養状態を維持するのに十分な量のことである。

ビタミンは身体機能を正常に維持する上で不可欠である。過剰に摂取した場合、⑥ ( ) ビタミンは尿中に排出されるが、⑦ ( ) ビタミンは、体内に蓄積されてしまうため、過剰症への留意が必要である。

⑦ ( ) ビタミンには、欠乏した場合に夜盲症や眼球乾燥症、易感染性などのおそれのあるビタミンAのほか、⑧ ( )、⑨ ( )、⑩ ( ) がある。⑧ ( ) が欠乏した場合の健康影響として、くる病や骨軟化症がある。また⑨ ( ) が欠乏した場合の健康影響としては、溶血性貧血が、そして⑩ ( ) が欠乏した場合の健康影響としては、出血傾向や骨代謝不全が挙げられる。

語句群 I

A: TWA B: 健康増進法 C: LD<sub>50</sub> D: 5 E: EAR F: 食育基本法 G: LOEL H: RDA I: 3  
J: AI

語句群 II

K: 難溶性 L: 脂溶性 M: 水溶性 N: ビタミンB<sub>1</sub> O: ビタミンB<sub>2</sub> P: ナイアシン  
Q: ビタミンB<sub>6</sub> R: ビタミンB<sub>12</sub> S: ビタミンC T: ビタミンD U: ビタミンE V: ビタミンK

問5. パンデミックについて、説明しなさい。(10点)